



2020年10月23日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

常磐線末続駅、Jヴィレッジ駅における地域活性化に向けた取り組み

JR東日本水戸支社は、お客さまにより安心して快適に駅をご利用いただけるよう、無人駅の利活用を進めています。その取り組みの一環として常磐線末続駅では、ホーム上から海を望むことができるロケーションを活かし、地域の方々の憩いの場として駅を活用していただけるよう駅構内にウッドデッキを設置しました。また、Jヴィレッジ駅では日本サッカーの聖地「Jヴィレッジ」の最寄り駅として、地域と連携して駅をご利用のお客さまによりサッカーを連想していただけるよう駅装飾を行いました。

1 取り組み内容

末続駅のウッドデッキ及びJヴィレッジ駅の装飾については、地域や駅の特徴を表現し、ご利用されるお客さまに快適に駅をご利用いただけるよう整備しました。

(1) 末続駅

海にマッチしたデザインを採用。床上げすることで海を綺麗に且つ広い範囲で眺めることができるよう設計しました。



ホーム柵



ウッドデッキ



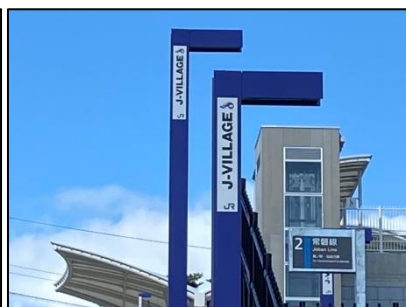
ウッドデッキからの眺め

(2) Jヴィレッジ駅

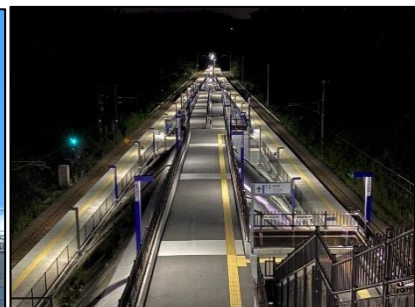
- ① 階段アート：カラフルで躍動感のあるデザインを採用し、サッカーの聖地をアピールしています。
- ② ホーム照明：サッカー日本代表のサムライブルーをイメージし、ブルーを採用しました。



ホーム階段アート



ホーム照明装飾



Jヴィレッジ駅全景